



平成 26 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 日 本 工 営 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 廣 瀬 典 昭
(コード：1954 東証第一部)
問 合 せ 先 法 務 ・ 広 報 部 長 深 作 克 弥
電 話 番 号 03-3238-8027
03-3264-6713

英国 Hyder 社を完全子会社化するための友好的な買収手続きの合意について

当社は、ロンドン証券取引所に上場している英国建設コンサルタントグループ、Hyder Consulting PLC（本社：英国ロンドン、CEO Ivor Catto、以下「Hyder 社」）と、Hyder 社の発行済及び発行予定普通株式を現金にて取得し、完全子会社化（以下「本件買収」）する手続きを開始することに合意いたしました。

本件買収は友好的なものであり、Hyder 社の取締役会は本件買収につき、全会一致で賛同しております。

なお、当社は、本件買収について、英国の公開買付規制に基づく公表も 2014 年 8 月 8 日（現地時間午前 7 時）に英国において行っております。

1. 買収提案の背景

当社は、中期経営計画において、「グローバル展開の強化」と「新たな事業領域の開拓と形成」を成長のための基本方針としており、2020 年度までには売上規模 1,000 億円を超える企業グループとなることを目指してまいりました。

一方、中長期的な海外事業環境においては、資金源の多様化による政府開発援助（以下「ODA」）の減少と非 ODA 市場（国際機関、政府資金、民間資金）の増大が見込まれており、ODA 実績が豊富な当社としては、さらなる成長を実現していくためには非 ODA 市場へ積極的に進出していく必要があると考えておりました。

Hyder 社は、後述のとおり、建設コンサルティング事業の中でも特にデザイン分野に強みを有し、交通運輸、電力ガス水道・エネルギー、建築関連分野等において、公共事業・民間事業の双方のプロジェクトにおいて高い競争力と実績を有する企業です。加えて、Hyder 社は、鉄道分野を中心に英国において堅固な事業基盤を確立しているだけでなく、インフラ需要の著しいオーストラリア及び中東においても高いプレゼンスを有し、今後一層の成長が期待されます。

Hyder 社を買収することで、当社は 2020 年度における目標として掲げていた売上高 1,000 億円を大きく超える規模を早期に達成可能であり、また営業利益も 100 億円規模に達する見通しです。また、Hyder 社の英国、オーストラリア、中東の地盤を獲得することで、バランスのとれたグローバル事業展開が可能となり、地域的に理想的な補完関係の構築が実現できます。結果として、中長期的には双方の顧客に対して提供するサービスの価値を、大きく高めることが可能となると考えております。

また、本件買収による企業グループの統合にあたっては、双方の企業文化や価値観、戦略の類似性と整合性が重要な条件となりますが、当社と Hyder 社はこの点においても極めて高い親和性を有して

います。まず、両社とも全従業員に占める技術者の割合が高く、当社の企業哲学である「Technology」をHyder社も尊重しております。また、両社とも建設コンサルティングビジネスのワークフローの中では特にデザイン分野において、競争力を有します。共通する企業文化や価値観ならびに戦略の類似性や整合性が、両社が本件買収の合意に至るにあたって、極めて重要な要素となった次第です。

2. Hyder社の概要

Hyder社（本社：英国ロンドン、2002年ロンドン証券取引所上場）は1963年に設立され、デザインやエンジニアリングに特化したコンサルタント業務を展開しているグローバル建設コンサルティンググループです。特に、交通運輸、電力ガス水道・エネルギー、建設関連分野において高度な知見を有し、2014年3月期の売上高は296.8百万ポンド、2014年3月期の総資産は203.0百万ポンド、時価総額は184.9百万ポンド（2014年7月30日時点）となっています。

主に都市開発や環境関連サービス等（水処理関連、干ばつ地域での水関連事業を含む）の大規模、長期且つ複雑なプロジェクトにおいて強みを有し、英国・中東・オーストラリアの三地域を柱として、公共事業、PPP・PFI、民間事業等の広範なプロジェクトにおいて強い顧客基盤を構築しております。また、自前での成長のみならず、これまで複数の買収案件を実施する中で、着実に事業規模を拡大してきております。

経営陣には業界経験が豊富で優秀な人材を多く抱えており、経営陣のリーダーシップの下、事業環境の変化に柔軟に対応しながら持続的な成長を実現してきました。

3. 本件買収の意義

当社にとっての本件買収の意義は、次のとおりです。

(1) 事業・利益規模の一層の拡大

当社とHyder社が統合することにより、事業展開のグローバル化が加速し、売上高1,000億円超のグローバル建設コンサルティンググループが誕生します。本件買収と両社の統合を通じて、交通運輸、電力ガス水道・エネルギー、建築関連分野を中心に、公共から民間までのあらゆるプロジェクトの機会に対して、広範なサービスを提供することが可能となります。

(2) 非ODAビジネスの拡大

現在、当社の海外セグメント全体に占める非ODAビジネスの比率は限定的ですが、今後ODAの成長が横ばいになると想定されることを勘案すると、非ODAビジネスの事業拡大が必要であると考えてきました。Hyder社は公共事業のみならず、PPP・PFIおよび民間のプロジェクトにおいても優れた実績を有していることから、Hyder社の当該分野における経験や専門的知見を活用することで、特に今後大きな成長が期待できるアジア市場におけるPPP・PFIおよび民間事業への拡大が可能となります。

(3) 地理的分散の実現

当社とHyder社は、双方のビジネスにおいて、理想的な地域的補完性を有しています。当社は公共事業向け建設コンサルティングビジネスにおいては、日本でリーディングポジションを確立しております。また、アジア地域においても、ODAビジネスを中心に強固なプレゼンスを有しており、その他中東や中南米、アフリカにおいても、近年急速にその事業ならびに顧客基盤を拡大させています。

一方、Hyder社は、英国市場において鉄道分野を中心に強力なプレゼンスを有しております。更に、オーストラリアおよび中東市場においても長年にわたる経験および実績を有しており、強力なプレゼンスを築いております。

こうした両社の統合を通じて、日本、アジア、オーストラリア、欧州、中東、中南米、アフリカの世界中の各地域に拠点を有することになり、強固なグローバルネットワークが確立されることになり

ます。この結果、国と地域の壁を超えた統合的なサービスを、高い品質を伴って提供することが可能となります。

(4) 顧客基盤の拡大

当社とHyder社は、共に強固な顧客基盤を有しておりますが、互いの顧客には重複がありません。本件買収を通じて、当社のアジア地域を中心とした新興国における長期的な顧客関係と、Hyder社の欧州地域を中心とした豊富な実績を組み合わせることで、より広範な顧客に対して、建設コンサルティングサービスを提供することが可能となります。

4. 買収金額

買収価格は、Hyder社普通株式一株当たり680ペンス(約1,176円)を予定しています。なお、買収総額は約268.1百万ポンド(約463.8億円)を予定しております。

(注)1 英国ポンドあたり173円で換算

5. 買収手法および手続き

本件買収は英国法に基づく、スキーム・オブ・アレンジメント(Scheme of Arrangement)により実施される予定です。スキーム・オブ・アレンジメントとは、英国法上の買収手続きで、Hyder社の取締役会の同意に基づき、同社の株主および裁判所の承認を取得することにより買収が成立する、友好的な買収手法です。

Hyder社株主の承認決議につきましては、裁判所が招集する株主の集会において出席株主の過半数が承認し、かつ、かかる承認株主の所有に係る議決権数が、当社が保有する株式を除き、議決権行使総数の75%以上であることが議決要件となります。また、Hyder社株主からの承認決議を経た後に、裁判所による承認を得る必要があります。この手続きを通じて当社はHyder社既存株主に対価を支払うことで、Hyder社の株式の100%を取得します(上記の承認手続きにより、株主集会における個別の賛否に関わらず、全ての株主の保有株式を当社が取得することとなります)。

本件買収に係るスキーム・オブ・アレンジメントは、2014年9月～11月ごろに効力が発生することを予定しております。手続きの詳細な日程に関しては確定次第開示する予定です。

6. 資金調達

本件買収のための買収資金は、当社が保有する手元資金および金融機関からの新規借入により充当する予定です。

7. 今後の見通し

本件買収による、2015年6月期当社業績への具体的な影響額については、適切な時期に開示する予定です。

※ 英国における、本件買収の手続き開始に関する合意の公表(英国時間、2014年8月8日午前7時公表)については、下記ウェブページに掲載しております。

<http://www.n-koei.co.jp/news/2014/140808.html>

<Hyder 社の概要>

(1) 名称	Hyder Consulting PLC		
(2) 所在地	英国ロンドン		
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Ivor Catto		
(4) 事業内容	デザインやエンジニアリングに特化したコンサルタント業務		
(5) 資本金	3.9 百万ポンド (2014 年 3 月 31 日現在)		
(6) 設立年月日	1963 年		
(7) 上場市場	ロンドン証券取引所		
(8) 大株主および持株比率 (2014 年 6 月 30 日現在)	Aberforth Partners, LLP	9.6%	
	Black Rock Investment Management, LTD	7.4%	
	Legal & General Investment Management, LTD	6.7%	
	T. Rowe Price International, LTD	5.1%	
	Barclays Wealth	5.1%	
(9) 当社との関係	資本関係、人的関係および取引関係はございません。		
(10) 最近3年間の経営成績および財政状態 (単位: 百万ポンド)			
決算期	2012/3 期	2013/3 期	2014/3 期
連結純資産	87.3	96.1	79.4
連結総資産	202.3	218.9	203.0
連結売上高	277.3	298.1	296.8
連結営業利益	21.0	23.6	19.0
連結当期純利益	13.9	12.0	3.3
1株当たり連結当期純利益	35.96 ペンス	30.72 ペンス	8.39 ペンス
1株あたり配当金	9.00 ペンス	12.0 ペンス	13.0 ペンス

注: 公表されている Annual Report ベース。

<取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況>

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数: 0 個) (議決権所有割合: 0%)
(2) 取得株式数	39,422,928 株 (注)
(3) 取得価額	Hyder 社の普通株式: 約 268.1 百万ポンド アドバイザー費用等 (概算額): 約 7.6 百万ポンド 合計 (概算額): 約 275.7 百万ポンド

注: 本日現在の完全希薄化ベースの株式数を基準としております (本件買収に伴う株式関連報酬の精算による希薄化等を反映)。

以上